Excel2013 基礎 数式と表編集

1. 数式と表編集 前編 (数式)

1-1 数式の入力

Excel では、等号(=)で始まるデータを数式として認 識します。数式を入力する場合は、数値を直接入 力するのではなく、数値が入力されたセルを参照する 形で式を立てます。基本的な、四則演算を行う場合 は、四則演算子を使用します。

演算子	四則演算于	F	
	演算記号	一般的な名称	意味
= A1 + B2	+	足す	加算
	-	引く	減算
	*	掛ける	乗算
等号 セル参照	/	割る	除算

⑦操作 数式を入力します。

前月比を求める数式(=6月売上/5月売上)を入力します。

東京支店の前月比を求めます。	

①計算結果を出したいセルを選択します。

- ②キーボードから「=」を入力し、「6月」の売上が入力 されたセル(【D4】セル)を選択します。
- ③キーボードから「/」を入力し、「5月」の売上が入力 されたセル(【C4】セル)を選択します。

④[Enter]キーを押し、数式を確定します。

POINT! 数式が入力された E4 のセルには、計算結果 0.957627 が表示され、数式バーには数式 が表示されます。

= 4			~		£				
⊢ 4	*			V	Jx				
	Α		В		С		D	E	
1	第1四半期	支店	別売上						
2								7月1日	
3	支店名	4月		5月		6月		前月比	-
4	東京支店		5400		5900		5650	÷	
5	名古屋支店		3700		4270		3680		Τ
6	福岡支店		3300		3740		2990		
7	合計								
Π4	.	:	×	1	fr	-n.	4		
01			\sim	•	Ja	-0	7		
	Α		В		C		D	E	
1	第1四半期	支店	別売上						
2								7月1日	
3	支店名	4月		5月		6月		前月比	
4	東京支店		5400		5900	_ C	5650	=D4	
5	名古屋支店		3700		4270		3680		
6	福岡支店		3300		3740		2990		
7	合計								
~	_	1.	\sim		£				
64	*	:	\wedge	Y	Jx	=D	4704		
	Α		в		С		D	E	
1	第1四半期	支店	別売上	-					
2								7月1日	3
3	支店名	4月		5月		6月		前月比	
4	東京支店		5400	i O	5900	1	5650	=D4/C4	
5	名古屋支店	ļ.	3700		4270		3680		
6	福岡支店		3300		3740		2990		
7	合計								

E5	*	: 🗙	$\checkmark f_x$			
	Α	в	С	D	E	F
1	第1四半期	支店別売上				
2					7月1日	
3	支店名	4月	5月	6月	前月比	
4	東京支店	5400	5900	5650	0.957627	
5	名古屋支店	3700	4270	3680		
6	福岡支店	3300	3740	2990		
7	€ +					

◇⑦操作 数式をコピーします。

作成した数式はコピーして利用できます。

①【E4】セルをクリックし、セルのフィルハンドルにマウス ポインターを合わせ、【E6】セルまでドラッグします。

POINT !

Excel では、数式をコピーすると、自動的に参照セル 位置が相対的に変わるので、効率的に計算を行うこ とができます。

			0			
	Α	в	С	D	E	F
1	第1四半期	支店別売上				
2					7月1日	
3	支店名	4月	5月	6月	前月比	
4	東京支店	5400	5900	5650	0.957677	
5	名古屋支店	3700	4270	3680		ワニー
6	福岡支店	3300	3740	2990		_ 🛉
7	合計					
SU	M ~	: 🗙	✓ fx	=D5/C5		
SU	M -	: 🗙 B	✓ fx c	=D5/C5	E	F
SU 1	M -	: X B 支店別売上	✓ fx c	=D5/C5 D	E	F
SU 1 2	M ▼ A 第1四半期	: 🗙 B 支店別売上	✓ f _x c	=D5/C5 D	E 7月1日	F
SU 1 2 3	M ▼ 第1四半期 支店名	: X B 支店別売上 4月	✔ <i>fx</i> c	=D5/C5 D	E 7月1日 前月比	F
SU 1 2 3 4	M ▼ 第1四半期 支店名 東京支店	 B 支店別売上 4月 5400, 	✓ <i>f</i> x c 5月 5900	=D5/C5 D 6月 5650	E 7月1日 前月比 0.957627	F

3740

2990 0.799465

Σ-Α

最大値(M)

最小値(<u>I</u>)

その他の関数(F).

Σ 1011(S) 平均(<u>A</u>) 数値の個数(<u>C</u>)

3300

福岡支店

6 合計 • : 🗙 🗹 fx =D4/C4

1-2 関数の概要

関数とは、あらかじめ定義されている数式です。関数を使用すると、複雑な数式も計算に必要な 引数を指定するだけで、簡単に計算を行うことができます。

E4

関数の書式

= 関数名(引数 1,引数 2,…) ※引数は計算の対象となる値、セル範囲、文字列などを指します。 引数は関数により異なります。各引数は「, (カンマ)」で区切ります。

[合計]ボタンからは、使用頻度の高い、SUM(合計)、AVERAGE(平均)、 COUNT(数値の個数)、MAX(最大値)、MIN(最小値)の5種類の関数を 簡単に挿入できます。

1 - 3SUM 関数

合計を求めるには SUM 関数を使用します。

•	SUM 関数の書式 =SUM(数値 1,数値 2,・・・)
	数値:対象セル、セル範囲、数値などを指定します。
	連続したセル範囲を指定する場合「:(コロン)」、離れたセルを指定する場合
	「, (カンマ)」で区切ります。 例)=SUM (B1:B5) =SUM (B1,B3,B5)

⑦操作 月別の売上合計を求めます。

①【B7】セルをクリックし、「ホーム]タブの「編集]グループの「合計]をクリックします。

1	h & [VIS PIER	2	11 · A	= <u>=</u> =	\$7-	■ 折り返し	て全体を表示する	通知	14		-		翻挿入・	¥.
貼り	1117	8 7 ∐ •	E • 🖄	- <u>A</u> - Z	• = = =	EE	冒包浅精	合して中央撤え・	197 - %	00 0.4 0.4 00	条件付き	テーブルとして 電式設定	HIA	<u>₽</u> 4 -	11111日 1111日
5135	ブボード っ		フォント		6		前 :居	19	. 2	(檀 6		スタイル	2		063.00
87		1 X	$\sqrt{f_x}$										4	1.000 m	
	Α	8	с	D	E	F	G	ЭН	1	15	к	1 <u>1</u>	м	N	0
1	第1四半期	支店別売上													
2					7月1日										
3	支店名	4月	5月	6月	前月比										
-4	東京支店	5400	5900	5650	0.957627										
5	名古屋支加	1 3700	4270	3680	0.861827										
6	福岡支店	3300	3740	2990	0.799465										
7	合計														
0		1													

合計するセル範囲が自動認識され、破線で囲まれます。 ②数式バーとセル内に「=SUM(B4:B6)」と

表示されているのを確認し[Enter]キーを押します。

POINT !

[合計] ボタンを使用すると、上か左に隣接して入力 されている数値データを計算の対象のセル範囲として 認識します。

数式をコピーします。

③【B7】セルのフィルハンドルにマウスポインターを 合わせ、【D7】セルまでドラッグします。

SU	M -	: 🗙	🖌 fx	=SUM(B4	:B6)	
	А	В	С	D	E	F
1	第1四半期	支店別売上				
2					7月1日	
3	支店名	4月	5月	6月	前月比	
4	東京支店	5400	5900	5650	0.957627	
5	名古屋支店	3700	4270	3680	0.861827	
6	福岡支店	3300	3740	2990	0.799465	
7	合計	=SUM(B4:E	36)			
8		SUM(数值	1, [数値2], .)		
9						

В7	Ŧ	: 🗙	$\checkmark f_x$	=SUM(B4	:B6)	
	А	В	С	D	Е	F
1	第1四半期	支店別売上				
2					7月1日	
3	支店名	4月	5月	6月	前月比	
4	東京支店	5400	5900	5650	0.957627	
5	名古屋支店	3700	4270	3680	0.861827	
6	福岡支店	3300	3740	2990	0.799465	
7	合計	12400	2			
8			J	•••••		
9						



4月から6月の月別売上合計が表示されました。

《STEP UP!》 合計を一度で求めるには

合計を一度で求めるには、計算に使用する セル範囲と、計算結果を出したいセル範囲を まとめて選択して、 [合計] ボタンをクリック します。

-	phone in	teri il s	20172			3 1006	aun			21212
MB MB		135-99 -	11 +	- M -	EP	(五)第 -	「協衆存付き書式。		别一排入 -	2 + 27 + 1
m	Hit Filt - B F	U · A'	6	5 2 2	1221 -	191 . 56 .	モディープルとし	《書式設定》	2011年 -	∑,227(5)
	A 111 1	Q. A.	* *	经纪号	8° - 1	5H 58	EP TULTUZS-	11L *	的調性。	MANDOWN.
940	M-F m	2021		和推	- 19	1034	3.5	A.S.	47.0	(- t 3A) 150
64	+ +	2.2	1.	5100						3
	A	n (3	c :	D	π.	r.	38	н	13 I	
1	第1四半期大店	则壳上								
2	支店名 4月	5月	6	л	7月 前月比	18				-sum(non)
4.1	東京支店	6400	5900	5650	0.957	627				
10.12	名古星共足	3700	4870	3600	0,061	927				

1-4 相対参照と絶対参照

数式を入力する時のセルの参照方法には**「相対参照」「絶対参照」「複合参照」**の 3 つの参照方法 があります。

■相対参照

数式をコピーすると、参照セル位置がコピー先のセル番地に合わせて相対的に変更される参照方法です。

数式例)

予算に対する売上の達成率を求める式 は、数式をコピーしても、同じ行のセルの 値を参照するため、相対参照で指定しま す。

1	A	B	C	D	E	
1	支店名	売上	予算 🌙	成率	D列の計算式	6.4.1
2	A店	200000	19000	105%	=B2/C2	参昭セル位置が
3	B店	300000	300000	100%	=B3/C3 +	多照ビル位置が
4	C店	500000	625000	80%	=B4/C4	相対的に変更
5	1.0000				100000000000000000000000000000000000000	

■絶対参照

参照セルのセル位置を固定して参照する方法です。数式をコピーしても、同じセルが参照されます。

数式例)

売上構成比を求める式は、数式をコピー しても必ず、全店売上合計のセルを参照 させる必要があるので、絶対参照で指定 し、セル位置を固定します。



《参照形式の変更方法》

参照形式を変更するには「F4」キーを使用します。 固定された列番号、行番号の前には「 \$ 」記号が つきます。

「F4」キー1回 (絶対参照)	「F4」キー2回 (複合参照)	「F4」キー3回 (複合参照)	「F4」キー4回 (相対参照)
=B2/\$B\$5	=B2/B\$5	=B2/\$B5	=B2/B5
列と行の固定	行の固定	列の固定	

⑦操作 絶対参照を使用し売上構成比を求めます。

売上構成比とは、全ての売上額を100とした時の、個別アイテム毎の売上額の割合のことです。

 【C4】セルに、東京支店の構成比を求める式 (=B4/B7)を入力します。

東京支店の売上構成比を求める計算式は、 東京支店の売上÷全店売上合計となります。

全店売上合計の【B7】セルを絶対参照で指定します。 ②[F4]キーを押します。

「=B4/\$B\$7」と【B7】セルが絶対参照で指定されます。

③[Enter]キーを押し、数式を確定します。

数式をコピーし、コピーした数式を確認します。 ④【C5】セルをダブルクリックします。

全店売上合計の【B7】セルのセル位置が固定 されています。

B7	-	: X 、	f fx	=B4/B7	
	А	В	С	D	E
1	第1 四半期支	店別売上			
2					
3	支店名	売上合計	構成比		
4	東京支店	28500	=B4/B7		
5	名古屋支店	19600			
6	福岡支店	16760			
7	合計	64860			
8					

В7	~	: X .	f _x	=B4/ <mark>\$B\$7</mark>	
	А	В	С	D	Е
1	第1四半期支店別売上				
2					
3	支店名	売上合計	構成比		
4	東京支店	28500	=B4/\$B\$7		
5	名古屋支店	19600			
6	福岡支店	16760			
7	合計	64860			
8					

SU	SUM 🔹 : 🗙 🖌 f_x =85/ <mark>\$B\$7</mark>								
	А	В	С	D	Е				
1	第1四半期支	店別売上							
2									
3	支店名	売上合計	構成比						
4	東京支店	28500	0.439408						
5	名古屋支店	19600	=B5/\$B\$7						
6	福岡支店	16760	0.258403						
7	合計	64860							
8									

《STEP UP!》相対参照で数式を作成した場合

相対参照のまま数式をコピーすると、全店売上合計のセル位置が 移動し、何も入力されていないセルで割り算が行われてしまいます。 そのため、0で割り算した時に表示される数式のエラー値(#DIV/0!) が表示されます。

	A	В	С
1	第1四半期支	店別売上	
2			
3	支店名	売上合計	売上構成比
4	東京支店	28500	0.439408
5	名古屋支店	19600	#DIV/0!
6	福岡支店	16760	=B6/B9
7	合計	64860	
8			
9			
10			

2. 数式と表編集後編(表編集)

2-1 列幅や行の高さの変更

列幅の単位は半角文字数幅で、初期設定の列幅は「8.38 文字分」です。行の高さの初期設定は 「13.5 ポイント」で、データのフォントサイズに合わせて、自動調整されます。

⑦操作 列幅の変更を行います。

A 列の列幅を変更します。

①【A 列】の列番号の右側境界線上にマウス ポインターを合わせます。

マウスポインターが、両方向の矢印の形に変わります。

②「10.00」の表示を目安に右方向にドラッグします。 A 列の列幅が広がります。

POINT !

列番号の右側境界線上で、ダブルクリックすると、列の 一番長いデータに合わせて列幅が自動調整されます。 複数の列幅を一度に変更するには対象列をすべて 選択し、列番号の右側境界線上にマウスポインターを 合わせドラッグします。

《STEP UP!》行の高さの変更

行の高さの変更は、行番号の下側境界線上に、 マウスポインターを合わせてドラッグします。

L16	Ŧ	:]	XV	f _x			
	A (4	•) в		С	D	E	F
1	第1四半期	支店別	売上				
2						7月1日	
3	支店名	4月	5月		6月	前月比	
4	東京支店	5	400	5900	5650	0.957627	
5	名古屋支店	3	700	4270	3680	0.861827	
6	福岡支店	3	300	3740	2990	0.799465	







2-2 表示形式の変更

表示形式を変更すると、データをわかり易く表示できます。

⑦操作 数値に桁区切りのカンマを設定します。

①対象セルを選択し、[ホーム]タブ、[数値]グループの [桁区切りスタイル]をクリックします。

201	10 10-14	得入	1-25-1731	2cm	7-2 1	931 B	63		
1	W MI	trutter a	- 1	1 . 6 6	-18-	ų.,	Provide La	- 神を表示する	6.8
Mpe	10 🖌 1	J 12 =	U - 🗅 -	A . Z .	0.00	12 42	出 11844余。	· #10000	D 11 .
0,00	78-1 4		204	-			818	1	物理しな
84	+	X	1 fx :	5400				_	
	A.	8	C	D	1 B. 1		C .		3
1	第1四半期支	语则壳上			7月1日			2	
1	支店名	4.5	5月	6月	和月比				
4	東京支店	5400	5800	8650	0.957627				
3	名古羅支店	3700	4270	2650	0.851827				
0	相同光店	3500	3740	2990	0.799465				
100	1987	12400	13910	10200					

数値に桁区切りが設定されました。

POINT !

パーセントスタイルを設定するには、対象セルを選択 し、[ホーム]タブ、[数値]グループの[パーセントスタイ ル]をクリックします。

	1	第1四半期支	店別売上				
1	2					7月1日	
1	3	支店名	4月	5月	6月	前月比	
	4	東京支店	5,400	5,900	5,650	0.957627	
1	5	名古屋支店	3,700	4,270	3,680	0.861827	
(6	福岡支店	3,300	3,740	2,990	0.799465	
	7	合計	12,400	13,910	12,320		
1	8						
	ann. Ba		2259 √ fx =≥01/0	04	838 2	0/	tage in
	E	յու		7月1日		70	
0		96	% _∞ •Л ,	5450 0957627			
0		86	%	2,900 0.700465			
0		80	%				
	_						

2-3 文字の書式設定

文字の書体のことをフォントといいます。Excel の初期設定のフォントは「MS P ゴシック」、フォントサイ ズ「11 ポイント」です。

「MS P ゴシック」を「任意のフォント」に変更します。

①対象セルを選択し、[ホーム]タブ[フォント]グループ の[フォント]から任意のフォントを選択します。

フォントが変更されました。

POINT! フォントサイズを変更するには、[ホーム]タブ[フォント] グループの[フォントサイズ]から任意のフォントサイズを 選択します。







2-4 罫線の設定

セルに罫線を設定すると、表が見やすくなります。

⑦操作 表全体に格子の罫線を設定します。

ヤルの意式設定

7.99

8584 88 704 **88** 89-0. AB

278 278

48 29(14)[3]: [32]: **



《STEP UP!》 [セルの書式設定]ダイアログボックスでの罫線の設定

一度に複数個所に罫線を引きたい場合は、[セルの書式設定] ダイアログボックスを表示します。 [罫線] タブの左から、線のスタイルや色を選択して、右側から、 罫線を設定したい場所のボタンを選択します。

2-5 セルの塗りつぶしの色

セルに塗りつぶしの色を設定するには、対象範囲を選択し、[ホーム] タブ、[フォント]グループの[塗りつぶし]から、任意の色を選択します。 設定を解除するには、対象範囲を選択し、[塗りつぶしの色]から [塗りつぶしなし]を選択します。

2-6 データの配置の変更

入力したセル内のデータの配置は、必要に応じて変更できます。

⑦操作 表の列見出しの文字をセル内の中央に配置します。



《STEP UP!》 セルを結合して中央揃え 「セルを結合して中央揃え」では、複数セルを結合して結合セル の中央に文字を配置できます。実行するには、対象セルを選択 し、[ホーム]タブ[配置]グループの[セルを結合して中央揃え]を クリックします。

 アール
 ホーム
 オス
 ページレイアウト
 形式
 デーク
 化材

 あ
 MS
 P32×0
 -11
 -A
 A
 =
 一
 *
 *
 *
 *
 -<

2-7 ページ設定

初期設定のページ設定は、用紙サイズ「A4」、印刷の向き「縦」です。 変更するには、[ページレイアウト]タブ、[ページ設定]グループのボタンから実行します。 ページレイアウト表示では、印刷イメージを確認しながら、設定を変更できます。

ページレイアウト表示に切り替えるには、 表示選択ショートカットの

回 [ページレイアウト]を

クリックします。



⑦操作 印刷の向きを「横」にします。

①[ページレイアウト]タブ、[ページ設定]グループの [印刷の向き]から[横]を選択します。



ージ中央

水平(Z

≨直(V

印刷の向きが横に変更されました。

POINT !

[ページ設定]グループの[余白]の[ユーザー設定の余白]から、[ページ 中央]の設定を行うと、用紙の水平方向や、垂直方向の中央にデータ を印刷できます。



2-8 印刷の実行

画面で印刷イメージを確認後に、印刷を実行します。

⑦操作 印刷を実行します。

①[ファイル]タブをクリックし、[印刷]を選択します。

POINT! 画面の右側の[印刷プレビュー]画面では、 印刷イメージが表示されます。 レイアウト調整を行いたい場合は、[設定] から「ページ設定」を変更します。

②プリンタが正しく接続されている ことを確認し、部数を指定して [印刷]をクリックします。

